



# 槐魂

～1月号～

生徒会広報部

## 進級まで、あと残るは五十日。

### 今年度最後の学期を思いっきり楽しもう！

## 楠隼にサンタがやってきた!!



(左上) 上映した「エンドオブキングダム」のポスター  
(上) 二人のサンタと一匹(?)のトナカイがやってきた!  
(左下) 寮食で支給されたクリスマス特別メニュー。



十二月二十一日に、クリスマス会がありました。クリスマス会ではビンゴ大会、ケーキ配布、映画鑑賞会が行われました。鑑賞した

映画は「エンド・オブ・キングダム」。寮生徒会長の中俣さんは「名探偵コナン 紅の恋歌(ラブレター)」が良かったようです。(中井)

## 天文部主催 寮生夜話 実施



講演をしている城台さんと講演を真剣に聞く参加者。

一月十五日に、寮生夜話が行われました。寮生夜話で講演されたのは、中学三年生の小柳さんと城台さん。どちらも天文部に所属されていて、宇宙についての知識が沢山あります。

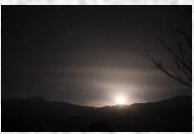
講演を聞きに来ていた寮生は、注意深く講演を聞き、メモを取って、真剣に聞いていました。中には、講演終了後も天文部に質問する寮生もあり、積極的な態度が見られました。この講演の後、イブシロンが打ち上げられました(イブシロンの打ち上げに関する記事も掲載しています)。(中井)

### 蛍光ペン

著：宮島  
あと残すところ約五十日。楠隼三年目も間もなく終わりを告げる。十二月、二週間の冬休みがあった。家族と一緒にいることができる貴重な時間に、どれくらい家族と話しただろう。ちなみに、著者は兄とは、ほとんど話していません。▼開校三年目にして大きく成長できている楠隼。これからの足取りが注目される中、我が校がより方向に進むためには「話し合い」が必要ではないだろうか。▼高校では生徒と先生との話し合いが頻繁に行われている。その結果雰囲気は少しずつ向上している。中高一貫校の学校の利点を生かすべきだろうか。▼中学生と先生方との直接の話し合いを行い、日々の疑問や改善点について話し合うべきではないだろうか。これにより、中学校の充実が図れると思う。開校して間もない学校だからこそやってみて損はないはずだ。(宮島)

## 念願のイブシロン打ち上げ 成功

とうとう、イブシロンが、三度の延期を経て、一月十八日に打ち上げられました。打ち上げられたイブシロンは三号機で、つい先日H2Aロケットが打ち上げられたばかりです。内之浦、種子島両方で最先端技術をとり入れられたロケットが打ち上げられ、どちらも大きな反響を呼んでいます。



ロケットの光によって照らされた早朝



打ち上げ後発生した夜行雲

した。早朝の打ち上げにもかかわらず打ち上げを眺め写真を撮っているその姿からは、宇宙に対する好奇心が湧き出ていました。(中井)

## 楠隼四期生 選抜試験

冬といえば受験です。中学・高校・大学と、ほぼ全ての教育機関が試験を行います。一月中旬に中学選抜があり、二月初旬には高校選抜も行われました。中学倍率は約一・九倍、高校は約一・二八倍と、低くなりつつあります。高校においては、現中学三年生に三十名が入学することになっています。来年度は大学受験を踏まえて多くの受験者が出ることを祈りましょう。(宮島)

## 自分の勉強法の確立を

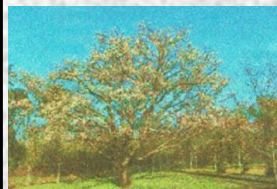
最後の学期となり、年度の学年末考査が二月下旬に控えています。また、学力推移調査やZ会アドバンステストなどの校外模試も行われました。自分の勉強法は確立できているでしょうか。テストの結果を踏まえて考えてみてはいかがでしょうか。義務教育は長くて二年、短くて二ヶ月です。テストができる期間もあと少しです。一つひとつの授業を大切に、あとの生活に繋がっていきますように。(宮島)

## 仰げば尊し〜久木元先生〜

「春は嫌いだ」という私の思いに共感してくれる人はいったい何人いるのだろうか。

仕事柄、全国規模の転勤が多かった父、住み慣れた土地との別れは、いつも突然にやってきた。荷物を詰めて、部屋の掃除をして、そして：しなくなつた友だちとの別れ。何度体験してもなれることは決してなく、いつも移動中の車の中で声を押し殺して泣いた。

そんな私が、別れがつきものの教師という職業についたのはなぜだろう、と、ふと考えることがある。その理由はいくつあるのだが、その一番の理由は、別れの数だけある、出会いによって、私という人間が少しずつ成長していった、それを強く感じているからだらうと思う。出会いによって、今まで自分になかった新たな視線を得ることができ、別の立場になって物事を考えることができる、少しだけ苦しみや悩みが軽くなる。人との出会いによって、私は喜びを知り、また人生の苦味を知って、大人になることができた(本当に大人なのか?)と思うときもあるのだ。



だからこそ、私は今年の春も、涙を流して別れと出会いを繰り返す。また一つ、喜びと苦味が分かる大人になるために。

## 【編集後記】

二〇一八年が始まり、楠隼開校三年目が過ぎようとしています。今回の生徒会新聞で、無事第三号を発行することができました。三学期はとも早く終わる学期です。中学一・二年生は進級、三年生は高校一年生となり、新一年生も入学してきます。あと残り二ヶ月です。悔いのないように、一日一日を大切に、これからの学校及び寮の生活を充実させたものにしましょう。(生徒会広報部・宮島・中井)

※二月号は諸事情によりお休みします。